

第139回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成19年10月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	10,114	-0.64	0.00	4,091	0.46	0.22
東部地区	14,321	-0.33	-0.06	5,563	1.36	0.27
西部地区	10,802	0.18	0.25	3,955	2.27	0.35
駅南地区	6,441	0.76	-0.13	2,642	2.16	0.41
半田地区	3,557	2.03	-0.05	1,298	4.34	-0.07
横山地区	5,689	0.45	0.15	1,850	1.36	0.43
茨目・田尻地区	6,892	-0.89	-0.02	2,291	-1.12	-0.13
荒浜地区	5,249	-0.90	-0.01	2,014	0.64	0.09
その他地区	21,646	-1.89	-0.16	7,193	-0.84	0.01
西山町地区	6,526	-2.10	-0.10	2,147	-1.05	-0.18
高柳町地区	2,069	-4.52	-0.04	854	-1.83	0.23
柏崎市計	93,306	-0.75	-0.03	33,898	0.60	0.15
刈羽村	4,986	-0.33	0.00	1,519	0.93	0.26
小国地区（長岡市）	6,643	-1.54	-0.07	2,151	0.00	-0.09
出雲崎町	5,383	-1.33	0.14	1,832	0.05	0.38
合計	110,318	-0.81	-0.02	39,400	0.55	0.16

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市が714人、0.75%、刈羽村が17人、0.33%、小国地区（長岡市）が104人、1.54%、出雲崎町が73人、1.33%とそれぞれ減少した結果、全体では908人、0.81%の減少となっている。

また、前月比においても、柏崎市が30人、0.03%、小国町が5人、0.07%と減少していることから、全体では27人、0.02%の減少となった。

一方、世帯数は前年同月比で柏崎市が204世帯、0.60%、刈羽村が14世帯、0.93%、出雲崎町が1世帯、0.05%と増加したことから、全体では219世帯、0.55%の増加となっている。

また、前月比においても、柏崎市が54世帯、0.15%、刈羽村が4世帯、0.26%、出雲崎町が7世帯、0.38%と増加したため、全体では63世帯、0.16%の増加となった。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,270		5.13		4.52	
月間有効求職者	1,146		-6.67		1.05	
月間有効求人倍率	1.11	1.03	0.13*	-0.05*	0.04*	-0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では月間有効求人数が1,215人と前年同月比で47人、3.72%の減少、前月比でも9人、0.73%と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,134人と前年同月比で96人、7.80%の減少となったものの、前月比では41人、3.75%の増加となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.07倍と前年同月比で0.04ポイント上回り、前月比では0.05ポイント下回っている。なお、県平均1.04倍に対しては0.03ポイント上回った。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が431人と前年同月比で103人、19.29%の大幅な減少、月間新規求職者数も341人と前年同月比で7人、2.01%と減少した結果、月間新規求人倍率は1.26倍と前年同月1.53倍を0.27ポイント下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成19年10月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	114	79	69	252	-6
共 同 住 宅	0	-3	0	7	-1
事 務 所	1	0	0	5	2
作 業 所 ・ 工 場	3	1	0	16	-3
営 業 建 物	0	-1	-1	14	-3
公 共 建 物	0	0	0	1	-4
そ の 他	11	-1	-3	66	-25
合 計	129	75	65	361	-40

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、「中越沖地震」からの復旧による影響で、当月申請合計が前年同月比で75件、前月比でも65件と大幅な増加となった結果、当月申請分は129件となっている。工種別内訳の主な増減を見ると、前年同月比、前月比共に一般住宅（併用）において大幅な増加を示している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が41件、増築が60件、改築が28件となっている。また、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数は、市内施工業者が66件（うち新築16件、増築37件、改築13件）、市外施工業者が48件（うち新築17件、増築18件、改築13件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,410	0.93	0.48	17,199	10.72	-4.84
電 力	11,702	-5.41	-0.67	48,544	0.54	-5.03

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で605口、0.93%の増加、前月比でも318口、0.48%の増加となった。一方、電力では前年同月比で670口、5.41%の減少、前月比でも79口、0.67%の減少となっている。

使用量においては、電灯が前年同月比で1,666kwh、10.72%の増加となったものの、前月比では875kwh、4.84%と減少している。一方、電力においても前年同月比で262kwh、0.54%の増加となったが、前月比では2,575kwh、5.03%の減少となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	729,877	-17.14	15.60	711,977	-2.91	14.29
営 業 用	144,095	-5.19	-30.75	134,358	0.79	23.46
工 場 用	523,671	16.30	-21.05	153,510	5.10	-0.05
官 公 学 校 用	194,091	-8.91	-45.99	89,296	1.18	14.92
そ の 他				140	-2.09	225.58
合 計	1,591,734	-6.16	-14.52	1,089,281	-1.07	13.10

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域では「中越沖地震」の応急復旧が完了し、本格復旧が始まってはいるものの、ガス供給量は用途全体で前年同月比で104,495m³、6.16%の減少、前月比でも270,450m³、14.52%と大幅な減少となった。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用を除き全て減少となっており、前月比においても家庭用を除き全て減少している。

一方、水道給水量は、前年同月比で11,798m³、1.07%の減少となったが、前月比では126,198m³、13.10%と大幅に増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比で家庭用、その他が減少し、前月比では工場用を除く全ての用途で大幅な増加となっている。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	90,455	12.72	4.02	94,343	13.81	7.26
西 山	55,725	25.64	8.44	49,862	23.29	6.20
米 山	27,220	10.34	2.63	25,855	15.07	1.81
合 計	173,400	16.16	5.17	170,060	16.64	6.09

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で24,134台、16.16%の増加、前月比でも8,535台、5.17%の増加となっている。

一方、出口においても、全体では前年同月比で24,264台、16.64%の増加、前月比でも9,767台、6.09%の増加となった。

インター別の内訳を見ると、全てのインターの出入口で前年同月比、前月比共に増加しており、特に前年同月比では全てのインターで2桁台の増加率を示している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	339,947	4.63	-0.39	142,065	2.05	1.20
平 残	335,965	4.22	-0.59	137,390	0.50	0.22

預金は、末残が前年同月比で15,064百万円、4.63%の増加となったものの、前月比では1,337百万円、0.39%の減少となっている。また、平残においても前年同月比で13,632百万円、4.22%の増加、前月比では2,022百万円、0.59%の減少となった。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で2,856百万円、2.05%の増加、前月比でも1,697百万円、1.20%の増加となり、平残においても前年同月比で697百万円、0.50%の増加、前月比でも304百万円、0.22%と増加している。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,988	-7.67	27.59
交 換 金 額	4,871	-11.24	47.89
不 渡 り 手 形 枚 数	0	-100.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-100.00	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎市内の手形交換高は、交換枚数が前年同月比で498枚、7.67%の減少となったものの、前月比では前月末日の休日要因から1,295枚、27.59%と大幅に増加している。また、交換金額においても同様に、前年同月比で617百万円、11.24%の減少、前月比では1,577百万円、47.89%の大幅な増加となっている。なお、不渡り手形は6カ月連続で発生しておらず、前年同月比で10枚、8百万円の減少となった。

当月の法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は5件（前年同月2件、前月0件）、負債総額12億円（同4億円、同0億円）、1件当たりの負債額2億円（同2億円、同0億円）となった。

地区別では下越地区3件（新潟市3件）、中越地区2件（長岡市1件、三条市1件）、上越地区は発生していない。業種別は建設業1件、製造業2件、販売業2件で、倒産原因別の状況は販売不振5件となっている。

なお、当月の県内企業倒産は5件、負債総額で12億円となっているが、大型倒産（負債総額10億円以上）の発生はなく、負債額1億円前後の小規模企業の倒産が多くを占めている。

今年の倒産件数は既に51件と前年合計の41件を10件も上回っている。倒産原因の多くが販売不振となっている状況の中、素材価格の高騰などによってさらに疲弊した小規模企業の経営環境は楽観できる状況にはなく、今後の倒産件数も増加基調で推移していくことが予想される。